

特集
駅
人々の触れ合う空間創出を目指して

Special Features
Station
Aiming to create spaces where people interact with each other

都市とその核(コア)

まちづくりと駅の役割

秋村成一郎

AKIMURA Seichiro

国土交通省/都市・地域整備局/街路課/
特定都市交通施設整備室長



1—都市の核の変遷

本稿では『駅』が都市の核(コア)たり得るか、また核となるための条件を探ります。

歴史的、地理的に都市の「核」、「玄関口」あるいは「顔」を担っている場所は常に変化しています。例えば、直接民主制の舞台となった古代ギリシアの公共広場(アゴラ)はまさしく都市の核でした。それは古代ローマの公共広場(フォロ、フォルム、フォーラムなどと呼ばれる)に受け継がれ、物資交換の場から商業、経済、政治、宗教の中心として活用されていたようです。欧州では中世から現代に至るも、公共広場は地中海沿岸諸都市を中心にその役割を変えつつ都市(圏)の中心として機能しています。

しかし人口と都市の膨張とともに多核化が進みます。フランス革命時に処刑の場に利用されたパリのコンコルド広場、ナポレオンの凱旋を祝うための門が築かれたエトワール広場、フランス革命200周年を記念して建設されたデファンス地区の新凱旋門と公共広場などは、シャンゼリゼ大通などの街路により東西一直線に計画的に結ばれ、それらが今ではパリの観光に多大な貢献をしていることは皆様ご存知のとおりです(なお、現在ではパリの核を地理上の中心であるモンパルナス・タワーに設定している例¹⁾も見受けられます)。

古来、人間の行動原則の正し手を、宗教、哲学、そして法律に求めたのはそれぞれユダヤ人、ギリシア人、ローマ人とする説があります²⁾。このうち一神教を信仰したのはユダヤ人のみですが、これを含み、特に中世においてキリスト教、イスラム教などの宗教(特に一神教)の発展とともに都市の核となったのは、教会やモスクでした。ここには信者が定期的集まり、宗教のみならず、時に政治の場として活用されたようです。

日本に目を向けると、中世以来、都市の核となったの

はご存知のとおり城、神社・仏閣、宿場です。明治になると、行政の庁舎や商業地区、そして鉄道の『駅』が新たに都市核のメニューに付け加えられました。なお、駅については、どの都市でも核として期待されたわけではなく、蒸気機関車が『公害』を撒き散らす厄介物とみなされ、駅が都市の端に追いやられた例は枚挙に暇がありません。ところが最近、駅が都市の核として認識される例がいくつか観察されるようになってきました。

2—最近の駅を中心としたまちづくり事例

最近の駅または駅周辺におけるまちづくりの事例は次のとおりです。

●1 新庄駅(地方都市中心駅の例)

山形新幹線の整備に併せて合築方式により、最上エコポリスのキー・ステーションとして最上広域交流拠点³⁾が建設されました。具体的には、花と緑の交流広場(アトリウム)、情報案内センター、体験館、物産館、映画館、会議室などが設置され、都市の核としてイベントなどの催し物のほか、市民の貴重な憩いの場となっています。この他、新幹線などの整備を契機とした類似事例は多数あります(表1参照)。

●2 狛江駅(大都市近郊駅の例)

小田急小田原線(世田谷代田~喜多見間)の連続立体交差事業・線増事業を契機に駅前広場、市街地再開発などの駅周辺整備と一体的に建て替えられ、まちの新しいシンボルとなっています(写真1、2参照)。

●3 上野駅(大都市拠点駅の例)

平成14年2月22日に不忍口付近においてJR東日本のステーション・ルネッサンスとしての改装工事が完了しました。正面玄関を入ったところに吹き抜けのガレリアを設けたほか、飲食店などを入れ、明るいイメージに模様替

えしました。それまでは新幹線の乗換駅としての役割が低下していましたが、乗降客数が1割以上増え、アメ横など周辺商店街にも好インパクトを与えています。

●4 東京駅(大都市拠点駅の例)

読者の皆様ご存知のとおり、平成14年9月6日、東京駅丸の内側にある「丸ビル」が超高層ビルとして生まれ変わりました。その前後の東京駅周辺の人の流れを比較したところ、ほぼ半世紀ぶりに丸の内側の利用客が八重洲側を上回りました。ビル開業後数日間における両側の一日平均JR利用者数も約50万人と5%増加する一方、八重洲側においてもデパートなどの売上増加などが観測されています。

その他、東京の汐留地区におけるシオサイトの整備に伴いJR新橋駅の乗降客数が急増している例、JRや民鉄各社による駅周辺の大規模な整備事例(札幌駅、名古屋駅、京都駅等々)など数多く見受けられます。

3—駅の役割の多様化と都市核の形成

駅は別の意味で注目を集めています。例えば、駅構内、駅ビルや駅近くに設置された市民センター、図書館など

■表1—地元自治体とJR東日本の協力による自由通路、公共施設の合築等の整備事例

駅名	路線等名	整備施設					
		自由通路	公共施設(合築)	駅舎橋上化	駅舎改良/新設	○駅ビル △商業床	駅ホテル
I. 東北地方							
豊石駅	秋田新幹線	○	○	○			○
田沢湖駅	秋田新幹線		○		○		○
大曲駅	秋田新幹線	○	○	○			○
秋田駅	秋田新幹線	○		○		○	○
米沢駅	山形新幹線		○		○	△	○
高島駅	山形新幹線		○		○		○
赤湯駅	山形新幹線		○		○		○
かみのやま温泉駅	山形新幹線	○	○	○			○
山形駅	山形新幹線	○		○		○	○
天童駅	山形新幹線	○	○	○			○
さくらんぼ東根駅	山形新幹線	○	○	○			○
村山駅	山形新幹線	○	○	○			○
大石田駅	山形新幹線	○	○		○	△	○
新庄駅	山形新幹線	○	○		○	△	○
矢吹駅	東北本線	○	○	○			○
国府多賀城駅	東北本線	○		○			○
摺沢(すりさわ)駅	東北本線	○	○		○		○
弘前駅	奥羽本線	○		○		○	○
沼宮内駅	東北新幹線	○	○	○			○
二戸駅	東北新幹線	○	○	○			○
八戸駅	東北新幹線	○		○		○	○
名取駅	東北本線	○	○	○			○
II. 首都圏							
上野駅	山手線等	○			○	△	
田町駅	山手線等	○			○	○	
品川駅	東海道線等	○		○		○	
小田原駅	東海道線等	○			○		○
III. 上信越地方							
直江津駅	信越本線等	○		○			○
軽井沢駅	長野新幹線	○	○	○			○
上田駅	長野新幹線				○		○
長野駅	長野新幹線	○	○		○	○	○
佐野駅	両毛線	○		○			○

©Copyright: 2004 Seichiro Akimura

の公共施設や長時間保育に対応した保育所です。これらは、最寄り駅に併設されるとより便利になります。例えば、朝の通勤途中に就学前の子供を最寄り駅の保育所に預け、帰りにピックアップするなどです。実際、JR各社や民鉄が民間とタイアップして駅に保育所を設置する事例が増えてきました。



■写真1—昔の狛江駅



■写真2—現在の狛江駅

